

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和3年度第1回高松市男女共同参画推進懇談会
開催日時	令和3年5月17日(月)10時00分～11時00分
開催場所	高松市防災合同庁舎3階 301会議室
議 題	(1) 第5次たかまつ男女共同参画プラン(仮称)骨子案について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	柴田会長、春日副会長、石川委員、岩崎委員、加藤委員(オンライン)、高橋委員、谷川委員、徳倉委員(オンライン)、仁賀委員、藤澤委員、藤田委員、藤本委員
傍聴者	2人 (定員 2人)
担当課及び連絡先	男女共同参画・協働推進課 (839-2275)

### 会議経過及び会議結果

(1) 第5次たかまつ男女共同参画プラン(仮称)骨子案について

(事務局説明)

(委員)

私は、国の第5次計画の「計画実行・監視専門委員」として取り組んでおり、第4次計画までの課題が進まなかった反省を生かし、計画が進んでいるか途中で確認し、うまくいっていない部分を検証することで、第5次計画がしっかり実行されているかを監視する役割を担っている。今回策定するプランは、国の計画をベースにしているので、懇談会においても、進捗報告を受けた際には、うまくいっていない部分については何に力を入れていけばよいか、懇談会が提案するような形での進め方を提案する。

(事務局)

御意見を踏まえ、今後検討していく。

(委員)

コロナ禍において、経済的な困窮者が増えている。「基本的な考え方」の「男女が共に安心できる社会づくり」が大変重要であり、現在求められている課題である。経済的な安心、女性の経済的困窮者に対する支援・安全の確保といった視点を持ってほしい。

(事務局)

素案を策定する上で、コロナ禍における状況を踏まえ、対応できるよう取り組んでいく。

## 会議経過及び会議結果

(委員)

安心して働ける、安心して生活できるという部分が、非常に緊迫している部分である。非正規雇用の問題、解雇の問題が、すごく多くなっている。また、2025年問題の介護に関する課題について、育児と仕事の両立よりも、介護と仕事に関する相談を受けるケースが、ここ1～2年で増えてきている。この点について、ワーク・ライフ・バランスの観点から、市としても強化していく必要があるのではないか。

(事務局)

ワーク・ライフ・バランスを実現していくためには、育児だけでなく介護等も考慮していく必要があり、そうした点も念頭に置き、プランを策定していく予定である。

(委員)

自動車業界では、男性比率が高く、女性は補佐的な職種を担うというスタイルがずっと続いている。現場で働く女性の声をお伝えしたく、発言させていただいた。現在の社会というのは、男性が作ってきた社会であり、その中に女性が入って行こうというのが、現在の視点である。今活躍できている女性というのは、男性が作ってきた枠組みや条件にあっている人であるが、これからは、その枠組みを取り払い、女性が、ライフイベントを抱えながらも、もっと活躍していける職場を作っていかなければならない。その中で、育児、介護にもっと男性が関わっていく、女性もそれを受け入れることをしていかないと、男女共同参画は進んでいかない。どうしても現場だけでは、価値観を浸透させるのは難しく、行政から、男性の家事、育児、介護への参画をもっと呼び掛けてもらいたい。またそれに伴い、女性の意識改革も強く進めていただきたい。

(事務局)

意識調査では、意識は変わってきているという現状であるが、実態として、様々な場面で、まだまだ女性の活躍できる環境でないと思っている。そういった状況を踏まえ、今後はより一層男女共同参画という視点を強調し、意識改革等の方策を考え、プラン等に反映させていく。

(副会長)

第4次プランの状況や成果指標は、引き続き第5次プランの中にも入れていく予定か。

(事務局)

第4次プランの状況については、第5次プランに盛り込んでいく。成果指標の目標値の設定については、今後検討していく必要がある。

(委員)

男女共同参画の視点の中で、コロナ禍において様々な対策を考えておられるが、災害など非常時における対策についても、日ごろから考えておくべきであり、プランに入れておく必要があるのではないか。

(事務局)

感染症拡大により、様々な方面に影響が出ている現状を踏まえ、計画

## 会議経過及び会議結果

策定の背景として「新たな日常」への対応というのを挙げている。また、防災等の影響への対応としては、防災会議等への女性の登用率を上げていくことや、国の「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」を踏まえ、プランの内容を検討していきたい。

(会長)

第4次プランの達成状況というのが気になるところである。どういう原因で達成できなかったのかという検証が必要である。第5次プランの目標設定については、決して目標を下げることは避けていただきたい。当初、根拠があって目標を立てておられるので、目標は常に高いところを目指して設定し、途中、達成状況等の検証等をしながら、目標に向かっていただきたい。

(事務局)

目標値の設定については、現行プランの状況を踏まえ、今後検討していく予定である。

(3) その他

第5次たかまつ男女共同参画プラン（仮称）策定スケジュールについての確認及び次回懇談会開催予定について周知

(閉会)